

平成30年度 総務部

総務部長 山本美佐子

第1 事業報告

(1) 非司調査

9月 7日	田辺支局 調査員	9名
10月 2日	和歌山本局 調査員	12名
10月10日	橋本支局 調査員	4名
	御坊支局 調査員	3名
	新宮支局 調査員	3名

不動産登記 H30年3月分（本局・田辺支局では各6000件分）調査

(2) 災害対策

7月25日の支部長会において

各支部長に災害対策委員を兼任してもらい

今後も委員就任を支部長の当て職とすることを決定。

9月12日災害対策委員会（総務部会と合同）

正副会長、支部長、総務・市民支援部長、総務部員が出席

委員長 寺下会長

副委員長 榊谷副会長

廣畑（田辺）・田中（新宮）、西川（橋本）支部長を選出

協議内容

*安否確認の方法の検討

民間の有料メールサービスも検討したが会員に

緊急時連絡先の情報提供の協力依頼しかないのではとなった。

*10/14「南海トラフ地震に備えて」市民公開講座（近司連共催）

スケジュールと役割分担を決める。

(3) 研修規則・実施要領について

1月22日総務部・研修部合同部会

研修規則について審議

日司連モデル案を基礎に規則案を作成

研修実施要領について審議

特に講師謝礼の部分は当会の実情に鑑み慎重に協議を行い

独自基準案を作成

第2 その他

(1) 10/14「南海トラフ地震に備えて」市民公開講座

於 田辺市の県立情報交流センター（ビック・Uー）

当会及び近司連兼任の川端・楠見災害対策委員を中心に準備
講師謝礼・広報費用は近司連が負担。

一般参加者以外に会員・県職員など50名参加。

(2) 遺産承継業務に関する意見交換会（11/23）広島会

他会の財産管理センターや委員会活動の報告・意見交換

（寺下、山本が参加）

特に滋賀会木曾会員による業務に関する判例解説が秀逸であった。

以上